

ノーザンシステムサービス

いわて新産業創造センター
インキュベートルーム
入居企業の紹介

「IT」の大きな特徴として、国内外を問わないグローバルな展開がよくあげられる。しかし、その一方、あまりに広く進歩が早い世界への戸惑いや抵抗感があることも否めない。今回紹介するノーザンシステムサービスは、視点を普通の生活に置くことで、手軽で気軽に利用できるシステムを開発したベンチャー企業だ。「携帯電話で作り、携帯電話で見る広告」という「ポケットインフォ」。それは地域の活性化にもつなげる可能性を秘めたシステムだ。

大学時代から起業を目指し

平成13年4月に設立されたノーザンシステムサービスの代表、川村さんは大学時代から起業を考えていた。

「30歳前には独立してコンピュータソフトの開発会社を起こしたいと思っていました。けれど経営のノウハウもなく、そうした勉強からスタートしました」

企業に就職し、プログラム開発の傍ら、いわてマルチメディアセンターのインストラクターなどを勤めた後、念願の独立。今年4月からインキュベートルームに入居した。

「現在はコンピュータ処理業務の受託などが中心になっていますが、今回開発した『ポケットインフォ』を契機に、より自社製品の開発に力を注いでいきたいですね」

満を持して開発した「ポケットインフォ」とはどんなものなのだろうか。

携帯電話で広告づくり身近な地域へ

多くの人たちがネットや通信の有用性を認めているものの、その取り組みには多くのハードルがある。コンピュータの操作、ホームページの作成と更新、さらに注文の受け答え、セキュリティ…。そうした「障害」ゆえに、IT自体を否定的に見る人も少なくない。

「『ポケットインフォ』はサーバにあるデータベースをもとに運用する情報発信システムです。利用方法は非常に簡単で、お客様は発信したい情報を、『ボックス』と呼んでいるお客様が利用するスペースに携帯電話などから直接文字入力するだけです。例えばレストランならランチ情報を、スーパーや小売店なら特売情報を、商店街やデパートなら各店舗の情報をというように。利用者はブックマークなどしておけば、簡単にその時にほしい情報を見ることができるようですね」

入力は携帯電話のほか、パソコンでもPDAでもできる。

「更新した情報だけを見せるようにしていますから、どれが最新情報か探す手間もかかりません。ですからお店だけでなく、交通案内や緊急・注意情報、さらにはグループでの活動でも手軽に使いやすいと思うんです」



バーチャル携帯を使ったシミュレーション

利用金額は、1つのID(1つのボックス)で月に1000円から(定額固定)と低額。しかも携帯電話で作成・見ることが出来る「広告」は、情報を選ぶ側にとっても発信する側にとっても負担が少なく、タイムリーということになる。

「店に来てもらえる」可能性

ノーザンシステムサービスのもう一人のスタッフである開発ディレクター・岩本さんも利用性の高さを語ってくれた。

「例えばあるデパートにリンクさせることで、周辺駐車場の情報も入られます。また混雑具合や待ち時間などを入れるだけで利用者にとっては便利ですよ。そういった意味では、この『ポケットインフォ』は来店していただくためのショッピングガイドモールとも言えると思うんです」

川村さんが理念として持つ「地域に密着したソフト開発」の一つである「ポケットインフォ」は、新たな活性化のツールとして皆さんのそばで使われる日が近いかもしれない。

ノーザンシステムサービス / DATA
盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス7F
TEL 019-621-5274 FAX 019-621-5284
ホームページ <http://www.isop.ne.jp/nss/>
Eメールアドレス nss@isop.ne.jp

インキュベートルームとは、企業成長を支援するための施設で、創業間もない企業等に低額で貸与するマリオス7階のオフィススペース。入居者に対しては総合的な支援を実施している。



「ポケットインフォ」は標準プラン(1ID)で1ヵ月1,000円からというリーズナブルな価格でリアルタイム・インフォメーションシステムが構築できる。このほか各種プランが用意されている。詳しくは下記のホームページまで。<http://p-in.net/>



ノーザンシステムサービス代表の川村さん。物静かな口調だが、内に秘めた思いは熱い。「『ポケットインフォ』では、大手メーカーができないことを実現したつもりです。上から見るシステムではなく、誰にでも利用してもらえるツールとして、岩手の皆さんにも活用してもらえたらうれしいですね」



開発ディレクターの岩本さん。「これからお店やレストラン向けの新しい形のWEBポイント還元システムを作りたいですね。『この店のコレがおススメ』というお客様の情報で、各店のホームページが充実していき、お寄せいただいたお客様にはポイントがつく。そんな口コミ型システムを形にしてみたいんです」